

核セキュリティに関する最新動向

(独)日本原子力研究開発機構
核不拡散・核セキュリティ総合支援センター
2011年10月3日作成

- **2009年4月5日 オバマ米大統領によるプラハ演説¹**

オバマ米大統領がプラハにおいて「核兵器のない世界」について演説を行った。その中で、テロリストによる核攻撃の脅威を強調し、核テロリズムを回避するために国際的な核セキュリティ強化促進の必要性和、「核セキュリティに関する世界サミット」の開催についての提案を表明した。
- **2009年11月 日米首脳会談における「核兵器のない世界」に向けた日米共同声明²**

同日米共同声明において、核不拡散、保障措置及び核セキュリティに関する協力の拡大に合意した。
- **2010年4月12-13日 核セキュリティ・サミット開催³**

第一回核セキュリティ・サミットが開催され、核テロリズムを防ぐべく、47ヶ国と3つの国際機関が、2013年末までに世界中の脆弱な核物質のセキュリティを確保することを目指すことで合意した。

我が国は、ナショナル・ステートメントにおいて、1)アジアの核セキュリティ強化のための「総合支援センター」の設置、2)核物質の測定・検知・核鑑識に係る技術の開発等について表明。
- **2010年4月 文部科学省と米国エネルギー省との間で、核不拡散、保障措置、核セキュリティの協力に係る協力文書に署名⁴**

協力文書における主な協力項目は以下の通り。

 - 核物質の測定・検知技術開発など
 - 両国がそれぞれ実施しているIAEA技術支援プログラムの連携
 - 原子力導入国等における保障措置システムの構築や核セキュリティ等に関する人材育成の基盤整備支援
 - 原子力施設の核物質防護のための技術的手法の開発など
- **2010年5月9日 2010年NPT運用検討会議第二回準備委員会⁵**

核不拡散条約(NPT)準備委員会において、多くの参加国が、核不拡散を実現するために輸出管理、核セキュリティが重要であることを主張した。また、国連安保理決議1540委員会、原子力供給国グループ(NSG)、ザンガー委員会、G8 グローバル・パートナーシップといった核不拡散イニシアティブに対する支持が表明された。

¹ 外務省、「オバマ米大統領による「核兵器のない世界」に関する演説について」、2009年4月8日。
http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/danwa/21/dnk_0408.html

² 経済産業省、「核セキュリティに関する最近の動向について」、2011年1月18日。
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu2/049/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2011/01/25/1301514_6_1.pdf

³ 外務省、「核セキュリティ・サミットにおけるナショナル・ステートメント(骨子)」、2009年4月12日。
http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kaku_secu/2010/nastatement_kosshi.html

⁴ 経済産業省。

⁵ 外務省、「2010年NPT運用検討会議第二回準備委員会(評価と概要)」、2010年5月9日。
http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kaku/npt/jyunbi/02_gh.html

➤ **2010年6月25-26日 G8 ムスコカサミット⁶**

カナダで開かれたG8サミットにおいて、首脳宣言の中で原子力平和利用を促進するために高いレベルの原子力安全、核セキュリティ、保障措置の実現に取り組む必要性が示された。また、核セキュリティ・サミットで提示された約束を実行すること、及び2013年末までに全ての脆弱な核物質のセキュリティを確保する取り組みにG8もコミットメントしていくことが確認された。

➤ **2010年11月 日米首脳会談後に「核リスクの低減に関する日米協力」を発出⁷**

日米両首脳は、核セキュリティに関する協力のための分野を特定し、2012年の核セキュリティ・サミットに向けて二国間の核セキュリティ作業グループを設置した。また、日米両国は、核不拡散・核セキュリティ総合支援センターを設立するとの日本の決定が重要であることを確認。さらに、4年以内に全ての脆弱な核物質の管理を徹底するという目標を再確認した。作業グループの主な活動内容は以下の通り。

- 2012年の核セキュリティ・サミットに向けた、民生用原子力施設の核物質及び輸送中の核物質のセキュリティ強化措置など具体的な成果の特定及び調整。
- 核鑑識、核物質の検知・測定、アジア太平洋地域における核セキュリティ強化に関する共同活動。

➤ **2011年1月 放射線源の登録管理制度の導入⁸**

国際原子力機関(IAEA)の行動規範に基づき、危険度の高い放射線源の所持・在庫確認等の情報を国に登録させ、不法所持、譲渡、譲受を早期探知するための放射線源の登録管理制度を導入。

➤ **2011年1月30日 茨城県国民保護共同実動訓練の実施⁹**

核テロ(ダーティ・ボム)を想定した、国内初の実動訓練。自治体、警察、消防、自衛隊、被ばく医療専門機関、医療機関等、73機関842名が参加し、避難誘導、災害医療における優先度の決定、現場応急治療、医療機関への搬送、救護所・避難所での除染、リスク・コミュニケーションなどに関する訓練を行った。

➤ **2011年2月 IAEAが「核物質・原子力施設の防護に関する勧告」の第5改訂版¹⁰を発表**

IAEAは、核セキュリティに関する「核物質・原子力施設の防護に関する勧告(INFCIRC/225)」の第5改訂版を発表し、核セキュリティ・シリーズ(Nuclear Security Series)第13号として発行した。勧告文書に法的拘束力はなく、当該文書の扱いは各国に任せられるが、各国の核セキュリティ実務には大きな影響を及ぼすことになる。

⁶ G8, "G8 MUSKOKA DECLARATION: RECOVERY AND NEW BEGINNINGS," 25-26 June, 2010.
http://www.mofa.go.jp/policy/economy/summit/2010/pdfs/declaration_1006.pdf

⁷ 外務省、「新たなイニシアティブに関するファクトシート(仮訳)」、2010年11月13日。
http://www.google.co.jp/url?sa=t&source=web&cd=2&ved=0CCUQFjAB&url=http%3A%2F%2Fwww.mofa.go.jp%2Fmofaj%2Farea%2Fusa%2Fvisit%2Fpresident_1011%2Finitiative.html&ei=HcqKTq6yO63PmAWE1ODvBA&usq=AFQjCNEpX9iGgB9Zo_J_WGAnke8q9-gwpQ

⁸ 内閣官房「主なテロの未然防止対策の現状」、2011年6月29日。
<http://www.kantei.go.jp/jp/kakugikettei/2011/110629tero-mizenbousi.pdf>

⁹ 国民保護ポータルサイト「茨城県における実動訓練の概要」。
<http://www.kokuminhogo.go.jp/torikumi/kunren/20110130.html>

¹⁰ IAEA, *IAEA Nuclear Security Series No. 13: Nuclear Security Recommendations on Physical Protection of Nuclear Material and Nuclear Facilities (INFCIRC/225/Revision 5)*, February 2011.
http://www-pub.iaea.org/MTCD/publications/PDF/Pub1481_web.pdf

➤ **2011年9月13日 原子力委員会「核セキュリティの確保に対する基本的考え方」決定¹¹**

原子力委員会は、核セキュリティ対策を日本の包括的な安全保障対策の一部と位置づけ、核セキュリティに関する国の責任、行政機関および事業者の責任、核セキュリティ文化や内部脅威対策、防護措置の在り方など、効果的な核セキュリティの確保の在り方に関する基本的な考え方を発表した。

➤ **2011年7月 韓国外交通商省国際機関局長ペク・チア氏による2012年核セキュリティ・サミットに向けた方針への言及¹²**

長野県松本市で開催された第23回国連軍縮会議において、韓国外交通商省国際機関局長ペク・チア（Paik Ji-ah）氏が、2012年にソウルで開催予定の第2回核セキュリティ・サミットを成功に導くために必要なポイントとして、以下の3点を挙げた。

① 政治的モメンタムの維持:

2010年の核セキュリティ・サミットで醸成された政治的意志を維持・強化し、核セキュリティ強化に向けた各国の行動をさらに前進させることが求められる。そのために、2012年サミットでは、より行動志向型の合意文書をまとめることを目標とする。

② コミットメントの実行・促進:

参加各国に対し、各国のコミットメントの「実施報告書」を提出することの他に、核セキュリティ強化に向けた行動について提案し、かつその行動実施に当たってのイニシアティブを取ることが、奨励される。

③ 核セキュリティへの貢献:協力の新分野の特定:

核セキュリティの実質的な強化のために、放射性物質のセキュリティという新たな課題への取り組みや、福島原発事故を受け、核セキュリティと原子力安全の相乗作用及び共通領域についても議論する。

➤ **2011年9月13日 米国ローラ・ホルゲート氏による2012年核セキュリティ・サミットの方針への言及¹³**

米ハドソン研究所の主催でワシントン DC において開催された「核セキュリティ・サミット:影響と評価」と題する会議において、米国家安全保障会議 WMD テロ・脅威削減局上級ディレクターであるローラ・ホルゲート（Laura Holgate）氏は、次のような発言を行った。

- 前回サミット以降、多くの国々が核セキュリティに関する研修センターを設立するなど進展がみられ、IAEA の会議でもそれらの努力をいかに効果的に調整していくかの議論がなされている。
- 次回サミットでは、新たな誓約を立てること、また前回コンセンサスを得たが進んでいない問題を進展させることが重要。
- 次回サミットにおいて引き続き核セキュリティに焦点を絞り、原子力安全への言及は最小限に留めるべき。

➤ **2012年3月26日 第2回核セキュリティ・サミット(ソウル)開催(予定)**

同サミットにおいて、各国の2010年セキュリティ・サミットでの国際約束の履行状況を確認することとなっている。

¹¹ 原子力委員会「核セキュリティの確保に関する基本的考え方について」、2011年9月13日。

<http://www.aec.go.jp/jicst/NC/about/kettei/kettei110913.pdf>

¹² Paik Ji-ah, "Preparing for the 2012 Nuclear Security Summit," July 2011.

<http://www.unrcpd.org.np/uploads/conferences/file/Ji-ah%20Paik.pdf>

¹³ Hudson Institute, "Events Detail: Nuclear Security Summits: Impact and Assessment," September 13, 2011.

http://www.hudson.org/index.cfm?fuseaction=HUDSON_upcoming_events&id=878